

行政事業レビュー公開プロセス(6月13日)

(事業名)介護基盤緊急整備等臨時特例交付金

コメント結果	事業全体の抜本的改善3 事業内容の改善3
--------	-------------------------

3	人	事業全体の抜本的改善
3	人	事業内容の改善
0	人	現状どおり

<とりまとめコメントの概要>

実際のニーズに応じた基金交付額の算定や、基金としての実施の必要性の検討といった意見を検証し、適切に制度改正を行うことが必要

<外部有識者のコメント>

- ・基金の額が実際の執行額に比べ大きすぎる。したがって、さらに増額する根拠は希薄。
- ・国が個別の評価をできないかぎり、さらに個別にコントロールできないかぎり、基金としてお金を出す合理性はない。
- ・一括交付金の中に組み入れるべき。
- ・見直し案に記載されている、介護基盤整備事業と既存施設のスプリンクラーの整備にいくら支出予定であるかを明確にした上で、基金の消化を把握すべきである。
- ・今後の事業計画に必要とされる予算見通しが明らかでない。
- ・国の出した基金を市町村が使うという構造で、現状では実施場所さえ不明な状態。そもそも基金という枠組みで国がコントロールするのは困難であるから、最初から一般財源化すべき。基金方式はやめること。
- ・ニーズに応じて実際に求められる基盤整備量と、市町村が計画量としている数値とがある程度合致しているのか。この確認ができないままに都道府県に補助金を出しているのは納得できない。
- ・ハードな基盤整備については把握に努めているようだが、求められる人員は確保されているのか。施設整備(ハード面)と職員養成(ソフト面)とが相まっての基盤整備のはずだが、ソフト面についてのデータが提供されていない。
- ・基金残高が多いので、より正確に交付額(年度)を算定するよう努めて欲しい。
- ・本事業の効果を適切に把握すべきである。都道府県からは交付額と執行箇所しか報告を受けていない。より効果を把握するよう努めるべきである。
- ・基金造成額(及び返還額)は適正な金額とすべきである。